

## 第16回日本口腔ケア学会に参加されます 医療関係者、歯科衛生士の皆様へ

今回、第16回日本口腔ケア学会が名古屋城近くの愛知学院大学名城公園キャンパスキャッスルホールで開催されます。

学会に参加されます多くの皆様と共に医科歯科連携を深め、人生100年時代を迎えた超高齢社会に対応すべく地域包括医療に結びついた活動を行っていききたいと思っております。

周術期口腔機能管理が保険収載され7年が過ぎました。これからは、がんと脳血管障害、糖尿病などの重複疾患を抱える方、がんにおける緩和的ケアが必要な方、終末期を在宅で迎えられる方、老人保健施設、回復期病院へ転院する患者さんなど多種多様な患者さんに対する多職種連携のあり方が問われていきます。

がん治療の周術期に緩和医療が平成28年度4月に、保険収載されたことから在宅や老人保健施設などへ転院する患者さんも増加していきます。

そこで、今回は、非常に新しい試みを歯科衛生士部会開催のワークショップで行うことにいたしました。ここ数年歯科衛生士部会の開催するワークショップは関心が高く、グループ討議形式をとっていた関係で定員を設けていましたが、今回は会場に入れる方全てに参加できるようにして定員を設けておりません。(収容人数は246名)

また歯科衛生士に限らず、このワークショップに興味があるあらゆる職種の方に参加可能ですので是非みなさまご参加ください。

がん患者さんの終末期をよりその人が、その人らしく、迎えられるには、私たち医療者はどのように関わって行ったら良いのでしょうか？

歯科衛生士は、その教育課程で、終末期についての学びが非常に少なく、なかなか踏み出せない方も多いと思います。

この機会に、口腔機能管理を緩和ケアにも十分活用し、臨床の第一線で活動されている皆様とともに、自分自身の生き方を再確認し、これから待った無しに訪れる超高齢社会でのがん患者さんのQOD(クオリティ・オブ・ダイイング)についても共に考えて行けたら嬉しく思います。

### 第16回日本口腔ケア学会歯科衛生士部会ワークショップの開催

**テーマ：緩和ケアと口腔ケア 歯科衛生士部会主催ワークショップを開催します！**

**死の模擬体験をワークショップで経験してみよう！**

**「あなたが、もしがんで余命を告げられたらどうしますか？」**

日時：2019年4月27日（土曜日）

時間：16時10分から17時10分

場所：愛知学院大学名城公園キャンパスキャッスルホール 第2会場

皆さま、どうぞ振るってご参加ください。

会員の皆様と顔の見える連携を当学会歯科衛生士部会は考えております。

この学会を通じて、皆さまと交流を深め、口腔ケアを多くの職種や医療機関と連携して皆様と共に歯科衛生士として、患者さんのQOLとQODを現場から支える歯科医療サービスの提供を構築していきたいと思っております。その担い手になるために、私と一緒に歩みませんか？

皆様にお会いできることを心から楽しみにしております。どうぞ、よろしく願いいたします。

日本口腔ケア学会歯科衛生士部会 委員長  
池上由美子